



令和3年12月20日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」 2021年度第3回公募における交流計画の採択について

JST（理事長 濱口 道成）は国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）一般公募プログラム（参考参照）において、2021年度第3回公募により採択する交流計画を決定しました。

2021年度第3回公募は、2021年9月1日（水）から11月5日（金）までの期間に合計13件の申請があり、国際青少年サイエンス交流事業選考委員会（委員長：三木千壽 東京都市大学 学長）による審議を経て、さくら招へいプログラム3件（申請件数3件）、さくらオンラインプログラム10件（申請件数10件）の採択を決定しました（別紙1、2、3）。なお、エジプトから招へいする交流計画が初めて採択されました。

新型コロナウイルス感染拡大への対応として、さくら招へいプログラムにおける交流計画の実施にあたり、日本、送出し国、受入れ機関、送出し機関の出入国・行動制限などに関わる方針・規制などに適合しているかを受入れ機関が確認し、JSTが合意することとしています。また、年度内に招へいが実施できない場合には、代替としてのオンラインでの交流を実施することとしています。

「さくらサイエンスプログラム」のホームページには、関連情報や過去の活動報告も掲載しています。

URL <https://ssp.jst.go.jp/>

<添付資料>

- 別紙1：2021年度第3回公募採択結果 交流計画一覧
- 別紙2：2021年度第3回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数
- 別紙3：2021年度第3回公募採択結果 機関別 採択件数
- 参考：2021年度 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）一般公募プログラム概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 経営企画部 さくらサイエンスプログラム推進本部
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3
石黒 傑（イシグロ スグル）
Tel：03-5214-8997 Fax：03-5214-8445
E-mail：[ssp.press\[at\]jst.go.jp](mailto:ssp.press@jst.go.jp)

【さくら招へいプログラム】

※新規送出し機関名は赤字

No.	コース	受入れ機関名	送出国・地域名	送出し機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	A. 科学技術体験	桜美林大学	マレーシア：8人 台湾：9人	[サンウェイ大学] 大学生：7人、教員：1人 [義守大学] 大学生：8人、教員：1人	日本が誇る和食と”おもてなし”から学ぶ新しいエンターテインメントのカタチの創造
2	A. 科学技術体験	長崎大学	タイ：10人	[チェンマイ大学] 大学院生：4人、教員：1人 [チュラロンコン大学] 大学院生：4人、教員：1人	長崎大学で学ぼう！～歴史から先端研究まで～
3	B. 共同研究活動	名古屋商科大学	エジプト：1人	[エジプト日本科学技術大学] 大学院生：1人	エジプト・日本における「カイゼン」実践者の知見から導かれる「カイゼン」の成功要因に関する比較研究

合計3件 受入れ機関：3機関（4カ国・地域）

【さくらオンラインプログラム】

※新規参加機関名は赤字

No.	実施機関名	参加国・地域名	参加機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	大阪工業大学	モンゴル：44人	[モンゴル工業技術大学] 大学生：15人、教員：15人 [モンゴル工業技術大学附属高専] 大学生：10人、教員：4人	人と環境に優しいものづくり技術の修得を目指した研修プログラム
2	大阪大学	モンゴル：10人	[新モンゴル工科大学] 大学生：10人	持続可能な産業社会の実現に貢献する日本の発酵技術
3	神奈川工科大学	タイ：8人	[バンコク大学] 大学生：4人、大学院生：2人、ポスドク：1人、研究者：1人	オンライン上でのグローバルチームによる先端情報技術研修
4	九州大学	中国：20人	[上海交通大学] 大学院生：1人、ポスドク：1人、教員：2人、研究者：16人	One Health (ワンヘルス): 人獣共通感染症予防とデジタルヘルス
5	早稲田大学	ベトナム：15人	[ベトナム国家大学ハノイ校日越大学] 大学生：15人	コロナ禍を克服するアジアの学生連携と国際交流
6	徳山工業高等専門学校	モンゴル：11人	[モンゴル工業技術大学附属高専] 大学生：10人、教員：1人	科学教材を用いたCOIL型プロジェクトの構築
7	徳山工業高等専門学校	モンゴル：11人	モンゴル工業技術大学附属高専 大学生：10人、教員：1人	インクルーシブ教育としての社会実装プロダクトデザインの協働体制の構築
8	一般社団法人 日中科学技術文化センター	中国：24人	[河北省国際人材交流協会] 高校生：20人、教員：4人	日本のテクノロジー発展の現状と未来
9	公益財団法人日中医学協会	中国：30人	[長春中医薬大学附属医院] 研究者：1人 [中国医科大学附属第一医院] 大学院生：1人 [天津医科大学総医院] 大学院生：2人 [北京医院] 研究者：1人 [河南科技大学第一附属医院] 研究者：2人 [西安市紅会医院] 研究者：1人 [安康市中心医院] 研究者：1人 [西安交通大学] 大学院生：2人 [上海交通大学医学院附属上海儿童医学中心] 大学院生：4人、研究者：1人 [浙江大学医学院附属第一医院] 研究者：1人 [中南大学湘雅二医院] 大学院生：3人、研究者：6人 [広東省人民医院] 研究者：1人 [新疆ウイグル自治区人民医院] 研究者：2人 [北京中衛融康国際医院管理センター] 研究者：1人	日本と中国の医療・医学分野における交流

2021年度第3回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数

別紙2

新規国・地域：エジプト・アラブ共和国

【さくら招へいプログラム】

(単位：人)

国・地域		コース		招へい者属性			合計
		A. 科学技術体験	B. 共同研究活動	大学生	大学院生	教員	
東南アジア	タイ王国	10			8	2	10
	マレーシア	8		7		1	8
東アジア	台湾	9		8		1	9
アフリカ	エジプト・アラブ共和国		1		1		1
合計		27	1	15	9	4	28

【さくらオンラインプログラム】

(単位：人)

国・地域		属性	参加者属性					合計	
			高校生	大学生	大学院生	ポスドク	教員		研究者
東南アジア	インドネシア共和国				3			3	
	タイ王国			8	2	1		12	
	フィリピン共和国						1	1	
	ベトナム社会主義共和国			16				16	
南西アジア	インド共和国				2			2	
	バングラデシュ人民共和国					1		1	
東アジア	大韓民国				1			1	
	台湾			3	3			6	
	中華人民共和国	20		13	1	6	34	74	
	モンゴル国			55		21		76	
中南米	ペルー共和国				1			1	
合計			20	82	25	2	28	36	193

2021年度第3回公募採択結果 機関別 採択件数

※新規実施機関名は赤字

【さくら招へいプログラム】

大学 (単位：件)

No.	受入れ機関名	採択数
1	長崎大学	1
2	桜美林大学	1
3	名古屋商科大学	1
	計	3

採択機関数：3機関

採択件数：3件

【さくらオンラインプログラム】

大学

No.	実施機関名	採択数
1	大阪大学	1
2	九州大学	1
3	大阪工業大学	1
4	神奈川工科大学	1
5	早稲田大学	1
	計	5

法人

(単位：件)

No.	実施機関名	採択数
1	一般財団法人東北多文化アカデミー	1
2	一般社団法人日中科学技術文化センター	1
3	公益財団法人日中医学協会	1
	計	3

採択機関数：9機関

採択件数：10件

高専

No.	実施機関名	採択数
1	徳山工業高等専門学校	2
	計	2

2021年度 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）一般公募プログラム 概要

1. 事業の目的

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」は、JSTが、産学官の緊密な連携により、海外の国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供すること（科学技術交流）を通して、

- (1) 科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保および継続的交流
- (2) 日本の教育研究機関のグローバル化
- (3) 日本と海外の国・地域との友好関係の強化

に貢献し、ひいては、日本および世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的とするものです。

2. 対象とする国・地域

原則としてすべての国・地域を対象とします。

3. 対象とする分野・テーマ

以下のいずれかに該当するものを対象とします。

- (1) 自然科学分野の交流
- (2) 経済社会の諸課題を理解するための取り組みや生活の向上などをテーマとする人文・社会科学分野の交流

4. 一般公募プログラム

【さくら招へいプログラム】

交流計画の目的や内容に応じて、科学技術体験コース（Aコース）、共同研究活動コース（Bコース）、科学技術研修コース（Cコース）から選択します。招へい前・後にオンライン交流を付加した実施を推奨します。招へいの実施が困難に至った際は、オンラインによってその代替とすることを採択の要件とします。

(1) 科学技術体験コース（Aコース）

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生などとの交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進するものです。

- ・滞在期間：原則として上限7日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：単一機関から招へいする場合は、10人を限度とし、複数の機関から招へいする場合は15人を限度（ただし、1機関からの招へいが10人を超えないこと）とします。

(2) 共同研究活動コース（Bコース）

国際共同研究のテーマもしくは計画の策定、予備的な実験などの共同研究を開始する活動、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限3週間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として10人を限度とします。

（3）科学技術研修コース（Cコース）

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得機会を提供する活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限10日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として25人を限度とします（複数の国・地域から招へいする場合）。

※なお、1つの国・地域から招へいする場合の招へい人数は15人、1つの国・地域かつ1機関からの招へいの場合の招へい人数は10人を限度とします。

【さくらオンラインプログラム】

オンラインだからこそできるシリーズ的・継続的に実施する交流。日本の実施機関と海外の参加機関によるオンライン交流を計5日以上実施します。

5. 招へい者・参加者の要件

対象は、高校生、大学生、大学院生、ポストドクター、教員などです。招へいの場合には原則として日本に初めて滞在することになる40歳以下の方が対象となり、オンライン交流の場合には来日経験は問いません。

6. その他

さくらサイエンスプログラムについては、ウェブサイトやFacebook、YouTubeを通じて最新情報を発信しています。また、ウェブサイトに掲載の「活動レポート」については、過去に採択した交流計画に関し、受入れ機関や招へい国、招へい者所属機関の属性（大学・高校・高専など）、コース名を入力することで簡単に報告を検索できます。ぜひご覧ください。

- ・ウェブサイト：<https://ssp.jst.go.jp>
- ・Facebook：<https://www.facebook.com/sspjapan>
- ・YouTube：https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D_uPQ/featured

以上